

研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

糖尿病網膜症・網膜中心静脈閉塞症・網膜静脈分枝閉塞症に伴う黄斑浮腫に対するラニビズマブ、アフリベルセプト及びファリシマブ硝子体内投与の超短期成績

1．研究の対象および研究対象期間

2014 年 4 月 1 日～2025 年 7 月 31 日の期間に昭和大学江東豊洲病院眼科にて、糖尿病網膜症・網膜中心静脈閉塞症・網膜静脈分枝閉塞症と診断され、黄斑浮腫及び視力低下をきたし、ラニビズマブ、アフリベルセプト及びファリシマブ硝子体内投与を試行した患者さん

2．研究目的・方法

糖尿病網膜症・網膜中心静脈閉塞症・網膜静脈分枝閉塞症に伴う黄斑浮腫に対するラニビズマブ、アフリベルセプト及びファリシマブ硝子体内投与の投与翌日の効果を検討します。昭和大学江東豊洲病院眼科にて、糖尿病網膜症・網膜中心静脈閉塞症・網膜静脈分枝閉塞症と診断され、黄斑部のむくみ及び視力低下をきたし、ラニビズマブ、アフリベルセプト及びファリシマブ硝子体内投与を初回として試行した患者さんのうち硝子体内投与前 90 日以内に網膜光凝固歴のない患者さんを対象に、糖尿病網膜症・網膜中心静脈閉塞症・網膜静脈分枝閉塞それぞれの疾患で、薬剤ごとに分類し投与前と投与翌日の視力と中心窩網膜厚を比較し、投与翌日の効果を診療録より後ろ向きに研究します。

3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 3 月 31 日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

病名、硝子体内投与歴、網膜光凝固施行歴、投与時の年齢、性別、投与日、投与眼、投与した薬剤名、投与前の最高矯正視力、投与前の中心窩網膜厚、投与翌日の最高矯正視力、投与翌日の中心窩網膜厚を調査対象とする

５．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

６．研究組織

昭和大学江東豊洲病院

研究責任者 昭和大学江東豊洲病院 眼科 教授 岩渕 成祐

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学大学院 保健医療学研究科 氏名：小林 知世

住所：東京都江東区豊洲 5-1-38

電話番号：03-6204-3237